

## 背中で語れる農家になる〜父から受け継ぐ魅せる農業〜

北海道岩見沢農業高等学校 食品科学科 3年 滝口みなみ

「農家って貧乏なの？」

あるとき高校で出会った非農家出身の友人にこう言われました。「どうしてそう思ったの？」と私が聞いたところ、「よく農家は大変で儲からないって聞くし、高校で見た農家を舞台にした映画にも経済的に苦しい場面が多かったから。」と言っていました。確かに、自然を相手にする仕事で重労働が多いわりに儲からないという話はよく耳にします。私の周りにもそのようなように考えている農家さんもあるし、大変で儲からないから継がないと言っている友人がほとんどでした。しかし私はそんなことは思っていない。逆に農家はとてもやりがいがあり、楽しい儲かる職業だと思っています。だからこそ私は、農家にマイナスイメージをもたれ、悪く言われることに違和感を覚えるとともに悔しさにも似た感情が湧いてきます。そのため「そんなことないと思うよ。私は、やり方次第では儲かるし楽しい職業だと思ってるよ。だから私は農家になる。」を友人に伝えました。

このように考えるようになったのは父の影響でした。父は高校卒業後から農業を営み今年で四十八年になります。代々米農家だった我が家ですが、十四年前に私の母が病気で他界し父子家庭になったことで肉牛も飼い始めることになり、今では牧草十二ヘクタール、小麦十一ヘクタールと繁殖牛二十四頭の飼育を父一人で行っています。父は、私の幼いころからやりがいを感しながら楽しそうに仕事をする姿を見せてくれ、弱音を吐くことはほとんどありませんでした。私はそんな父の姿に憧れ、農家を継ぎたいと思うようになりました。そしていつからか、私の将来の夢は、「農家を継いで農家レストランを営む」ことになっていました。六次産業化うい図ることで今よりもっと進んだ経営にしたい、なにより素材そのものの味をその場で多くの人に伝えたいと考えたからです。

この夢と父の背中を追うために父の母校である岩見沢農業高校に進学を決め、食品科学科を選択しました。食品科学科の授業では、素材の味を生かす食品加工の魅力を感じるとともに、良い作物を作る苦労と喜びを教わり、一次産業あつての二次産業であることやその結びつきの重要性を感じることが出来ました。

また、将来後継者をなる農家の娘たちとも出会うことができ、意見を交換することで経営について深く考える機会となり、非農家出身の友人たちからは別の視点からの意見を聞くことで視野を大きく広げることになりました。しかし、やはり農家への印象はマイナスイメージが多く感じました。どうしたらもっといい印象を持ってもらえるのだろうか。私は父に相談しました。すると父は、「親や周りの大人たちが楽しそうにやっていない仕事をやりたいとは思わないよな。大変なこともあるけれど、それはどの職業も同じだし。それよりも人それぞれのでやり方でやりがいを持ってできる魅力ある職業だと伝えていけるようにしないといけないな。」と答えてくれ、私は、「まさにそうだ。」と思いました。それと同時に、私は農業の魅力を知ることのできる恵まれた環境で育ったことに気が付きました。農業の魅力を伝えられる父のような農家になろう。そのため今、私には何ができるのか。これからなにをしなければいいのか。今までざっくりと追いかけていた「農家を継いでレストランを営む」という夢について具体的に考えるタイミングとなりました。まずは、「農家って貧乏なの？」と聞いてきた友人に夢を打ち明けてみることにしました。初めは、「そうなんだ。」と薄い反応でしたが、私と関わり父が行う農業を身近に目にすることで、しだいに興味を持ってくれるようになり、今では、高校卒業後我が家に就職し将来的に共同経営していきたいと言ってくれるまでになりました。私は、夢の実現への可能性が高まる友人との共同経営に胸をときめかせており、そのためにもまずは高校卒業後大学に進学し、農業経営について深く学びたいと考えています。お互いに意見を出し合い、切磋琢磨することで成長していきたいです。

岩見沢農業高校で学び、様々な人と出会ったことで私は、農業が好き人間が農家や農業の魅力を、農業を行う背中で伝えていくことこそが、農家のマイナスイメージをプラスイメージに変えていく近道なのだと実感しました。それは、父の農業をする姿に魅了された私や、私の姿を見て農業に興味を持つてくれた友人によって実証されています。「農家を継いで農家レストランを営む」という夢を実現させ、農業の魅力を知ることのできる恵まれた環境で育ったことを生かし、父のような背中で語れる農家になり、もつと多くの人に農業の魅力を伝えていきます。そしていつか、「農業って楽しいよね。」「農家に生まれてよかった。」「将来の夢は農家。」と言ってもらえる日が来ると信じて。

私は、人生を持って農業が魅力ある素敵な職業であると証明します。